



# いぶすき 市議会だより



## 【目次】

- 審議された主なことがら……………P2
- 委員会審査報告……………P3～P5
- 13人の議員が一般質問……………P6～P12
- 臨時会(第2回・第3回)  
委員会報告……………P13
- 所管事務調査の報告……………P14～P17
- 18歳選挙権アンケート結果…P18～P19
- 特別委員会の設置……………P18
- 議員表彰……………P19
- 議案審議結果  
賛否が分かれた議案一覧……………P20

## 学生服の有権者が投票

本県では、7月10日の参議院議員通常選挙・鹿児島県知事選挙から18歳に選挙権が与えられました。期日前投票をした指宿高校3年の久保田岳大さん(堀切園)と今林紗紀さん(道下)は、「投票することで自分の考えや思いを示したい。せっかくもらった選挙権、今後の選挙にも投票に行きます」と話してくれました。

# 審議された主なことから

平成28年6月定例会では、繰越明許費に係る報告案件2件、専決処分承認を求めた案件2件、条例に関する案件3件、平成28年度一般会計補正予算に関する案件2件、人事に関する案件1件、契約に関する案件1件、その他の案件1件の計12件が審議されました。審議された主なことからは次のとおりです。

**一般会計予算を  
予算総額 245億 925万4千円に**

今回の補正により、一般会計歳入・歳出にそれぞれ2億18万円を追加し、予算の総額は245億925万4千円になりました。

## 総務管理費

### 歳出補正の主なもの

- 山川駅の無人化に伴う駅簡易業務委託料 56万6千円
- コミュニティ助成事業補助金（3自治公民館） 2000万円
- 臨時福祉給付金 3600万円
- 年金生活者等支援臨時福祉

給付金 2400万円

## 保健衛生費

○地域の資源を活用したヘルスケアビジネス創出事業事務費 119万1千円

## 水産業費

○製氷冷蔵施設整備および水揚げ荷捌き用クレーン車購入補助金 4886万2千円

## 商工費

○道の駅いぶすきSAKAN A館魅力アップ事業 820万8千円

○砂楽入浴施設整備事業

○スポーツ合宿増加に伴う報酬費 150万円

○宿泊施設増設に伴う費用

## 道路橋りょう費

○指宿駅地下道のタイル爆裂補修および広告パネル設置等に伴う工事請負費 380万円

## 都市計画費

○指宿駅前広場等の街路灯、フットライト等設置工事費 590万円



フットライトが整備される指宿駅駐輪場

## 高等学校費

○情報処理ネットワークシステム機器の取替整備に伴う使用料及び賃借料 85万円

## 議会費

○公共施設の在り方調査研究特別委員会設置に伴う旅費 70万9千円

○タブレット端末機導入に伴う使用料及び賃借料等 233万円

## 請願・陳情の審議結果

6月定例会では、新たに提出された請願1件、陳情1件を所管する常任委員会に付託して審査しました。また、継続審査となっていた陳情1件も総務水道委員会で審査しました。

その結果、本会議で請願1件、陳情1件が採択、陳情1件が閉会中の継続審査となりました。

### ○採択された請願

#### ■請願第1号

・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の請願について

### ○採択された陳情

#### ■陳情第5号

・「地熱の恵み活用プロジェクト」に関する陳情書

### ○閉会中の継続審査となった陳情

#### ■陳情第4号

・指宿山川太陽光発電開発に伴う大規模林地開発反対に

関する陳情書

## 意見書案審議結果

### ○可決された意見書

#### ■意見書案第2号

文教厚生委員会の提案による次の意見書案を本会議で全員一致により可決し、各関係機関へ送付しました。

・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元・複式学級解消を図るための、2017年度政府予算に係る意見書

### ▽提出先

内閣総理大臣  
文部科学大臣  
財務大臣  
総務大臣  
内閣官房長官

## 決議案審議結果

### ○可決された決議

#### ■決議案第1号

議会運営委員の提案による次の決議案を本会議で全員一致により可決しました。  
・指宿市諸会議等の公開に関する決議

28年度一般会計補正予算

山川駅無人化に関して

山川駅の無人化に伴う簡易業務委託料が56万円ほど計上されているが、復活させる主な理由は何か。

これまで山川駅は最南端の有人駅であった。山川地域の活性化を図るために、市が直接委託して有人化を図っていく。



無人駅が解消される山川駅

山川駅発着の1日の便数と利用者は何人ぐらいか。  
上りが29本、下りが30本で、26年度の利用者数は14万9230人であった。

委託料が少ないように

思うが、募集する駅員の従事時間は、何時から何時までを予定しているのか。また、休暇はどのように考えているのか。

9月20日から3月31日までの午前7時から9時までと午後4時から6時までを予定している。また、土・日・祝日・振替休日および12月29日から1月3日までを休業として積算した。

委託する業務はどのような内容か。

乗車券類の簡易委託販売および駅舎トイレ等の清掃などである。

今後、JRとしては永久的に無人化に踏み切るということか。

JR自体が山川駅に職員を配置するということがないと聞いている。

少年消防クラブについて

少年消防クラブの防災訓練事業に必要な音響設備器材の購入とのことだが、現

在市内に幾つの少年消防クラブがあり、在籍人数はどのくらいか。

27年4月1日現在で四つの少年消防クラブがある。人数は、今和泉が18人、山川が16人、大成が16人、開聞が13人で合計63人である。

年何回ぐらい訓練をしているのか。

クラブによって差はあるが、おおむね規律訓練と救急実技、消火訓練等を月1回実施するほか、消防団と一緒に行う防火広報や県の少年消防クラブ研修視察等に参加している。

少年消防クラブの果たす役割はどういうものが考えられるか。

子どもたちが防火や防災について学ぶことで、消火や応急手当の知識・技術を身に付けることになる。また、少年消防クラブの取り組みが防災教育の一環となり、地域防災力の向上につながると考えている。

◎全員一致をもって原案可決

ICT推進に関する特別委員会

中間報告

ICT推進に関する特別委員会では、優先課題としてタブレット端末導入に向け、先進地調査（17ページに報告を掲載）を実施するなどして、調査研究を進めてきました。

タブレット端末導入については、これまで議会運営委員会等で調査研究してきた経緯があり、今回、一定の集約ができたものと考えます。

これまでの検討結果を中間報告としてまとめましたので、ここに報告します。

導入効果

①議員活動の利便性向上

タブレット端末一つで過去の資料も含めて、全てを携行できる（市民等へ資料を見せながら説明が可能）等。

②執行部・議会事務局の負担軽減

資料の製本、配布または、修正の場合の差し替え作業が不要になり、煩雑な業務を削減できる等。

□コスト削減効果

用紙代、印刷代などの印刷コストのほか、印刷製本に掛

かる経費、議案等の配布に要する経費、廃棄費用、議案等の差し替えに係る労務費、フアクシミリ送信料、資料保管に係る経費等が削減効果として考えられる。

導入費用・維持管理費

導入費用・維持管理費については、端末台数25台（議会20台＋議会事務局5台）の導入費用として、244万円程度、2年目以降は210万円程度が見込まれる。

費用負担

多くの自治体で、予算として賄われており、大きな費用削減効果があることなどから、通信費用・利用料については、全額公費負担とすることが望ましい。

導入時期

平成28年9月定例会での導入をめどとする。

まとめ

タブレット端末導入は、ペーパーレス化による「経費削減」はもとより、「議員の利便性向上」や「事務局の負担軽減」など、今後の行政・議会運営においてさまざまな効果が期待できるものであり、導入は必須である。

# 文教厚生委員会

## 主な委員会審査報告

### 28年度一般会計補正予算

指宿商業高校のICT導入について

**問** 指宿商業高校のICT導入状況はどのようになっているか。

**答** 生徒用のパソコン等は、第1情報室に44台、第2情報室に47台あり、いずれも5年リースで契約を結んでいる。他に文書処理実践室にある46台のパソコンは25年8月末でリース契約が切れており、今年度2月ごろに再度リース契約を開始する予定である。

**問** 5年リースでの契約を結ぶとのことだが、月々のリース代は幾らくらいになるのか。

**答** 税込みで12万1千円ほどになる予定である。

**問** コミュニティ助成事業による公民館建て替えについて

**答** 湊区会のコミュニティセンターを建て替えるとのこと

とだが、集落としてそれぞれあったのがまとまって入るといふことか。

**答** 湊上、湊中、湊北、湊南の四つの自治会を合わせた湊区会の公民館である。



建て替えられる湊区公民館

**問** 4集落が一緒になった湊区会とのことだが、市が取り組んでいる福元区や今和泉・魚見・指宿校区などのコミュニティ事業との関係はどうなるのか。

**答** 地域コミュニティの形成はさまざまであり、地域の課題解決のためにどのような組織がいいのか、自治会自体が自らの意思で決めるべきで、市としてはそのために必要な支援をしていきたいと考えている。

健康レシピコンテストについて

**問** 健康メニューのコンテストを実施し、12月の産業まつりで披露するとのことだが、これは市が主催して呼び掛けなども行うのか。

**答** 健康のまちづくり推進室の健康戦略係で市内・市外問わず幅広く募集を掛ける予定である。

**問** コンテストの審査員と調理員は何人で、人選はどのように考えているのか。

**答** 審査員は5人を予定しており、鹿児島女子短大や純心女子大学の先生のほか、市内で料理研究をされている方、管理栄養士、食改善推進員にお願いしたいと考えている。調理員は試食の際、24人程度の方に作っていただくたいと考えている。

**問** コンテストで素晴らしいメニューが出たら、市内小・中学校の給食に使っていく考えはないか。

**答** 学校給食のメニューのほかにいろいろな使えないか考えている。

◎全員一致をもって原案可決

## 家庭的保育事業等条例の一部改正

保育士数の算定について

**問** 小規模保育事業所A型と保育所型事業所内保育事業の定員は、それぞれどのようになっているのか。

**答** 小規模型保育事業は、保育者の居宅、その他の場所や施設で行い、認可定員は6〜19人である。事業所内保育事業は、事業所の従業員の子ども、地域の子どもの保育を必要とする地域枠となっており、定員19人以下もあれば、20人以上の事業所もある。

**問** 今回、看護師に加えて准看護師も保育士とみなすことができるといふことは、准看護師は保育の経験がなくても、従事できると理解しているのか。

**答** 准看護師については、その資格を生かしながら保育業務に従事することが想定される。施設長において、准看護師の保育業務の経験等に応じ、県等が実施する子育て支援員の研修受講を勧奨することが望ましいと考えている。

**問** 全国的に保育士不足がいわれており、事故等が心配だが本市は大丈夫か。

**答** 本市においても保育士不足の影響が多少はあると聞いている。

◎反対討論があり起立多数で原案可決

**請願第1号**  
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書採択の請願について

採択すべきという意見

さまざまな教育環境の下で、子どもたちの価値観が多様化し、学校になじみず不登校が増える状況がある。このため複式学級の解消やフリースクール等で学ぶ環境も必要と思われるが、自治体の限られた財源の中では対応が難しい。このようなことから国庫負担制度2分の1復元は必要であると考えているので、この請願は採択すべきである。

◎全員一致をもって採択

# 産業建設委員会

## 主な委員会審査報告

### 28年度一般会計補正予算

#### スポーツ合宿について

**問** スポーツ合宿奨励金で150万円計上されているがどのような団体か。

**答** 4月に県内高校が1団体、5月に延岡商業野球部が来ている。ほかに6月の鹿児島銀行陸上部、8月にサッカーで高校・大学を含めて10団体の合同合宿を調整中で、問い合わせを含めると40団体ほどになる。

**問** 陸上競技場をサッカー場として整備しているが、実際にサッカー関係者が練習をしているのか。

**答** 昨年は、鹿児島ユナイテッドFCと韓国の蔚山現代FCが利用した。

#### 砂むし会館「砂楽」のバリアフリー事業について

**問** 砂楽の施設整備事業1500万円はどのような内容なのか。

**答** バリアフリー観光導入推進事業で、個室シャワー室を3室、浴槽付きの個室シャワー室1室を入浴施設に併設して設置する。



個室のシャワー室が設置される砂楽

**問** 砂楽はこれまでの利益を剰余金として、5〜6千万円積み立てている。なぜ今まで整備しなかったのか。

**答** こういう施設があれば入浴したいという利用者の強い要望が増えてきたため、整備するものである。

#### 道の駅いぶすき「彩花菜館」の改修工事について

**問** 彩花菜館の魅力アップ事業で実施する厨房の改修工事はどのようなものか。

**答** 2階食堂の厨房を約3㎡拡張する計画で、内容は防水、建具、金属、塗装、内装、給排水、ガス・電気設備等の工事である。

**問** 人件費等を考えた場合、食堂部分というのは魅力あるものとして誘客が期待できるのか。

**答** 今回は、てこ入れのため、お客様から要望の強かった魚を使ったメニューを出して少ない人数でやり繰りしたい。人気が出たら人数を増やしたいと聞いている。

#### 指宿駅周辺の環境整備について

**問** 指宿駅地下道の照明器具をLED化するが、明るさほどの程度か。また管理はどこが行うのか。

**答** 今回付け直す照明も40ワット級で、管理は土木課で定期的に点検を行う。

**問** 指宿駅地下道の清掃は、どこが行っているのか。

**答** 清掃はシルバー人材センター等に委託している。

**問** 指宿駅地下道は防水対策

を取っているのか。

**答** 長寿庵側に1カ所、ポンプを設置しており、水が入ってきた場合は、ポンプアップをしている。

**問** 指宿駅地下道側面の壁補修工事はどのような内容か。

**答** ボックス形状の継ぎ目部分のタイルが壊れているので、そこを弾性塗装で仕上げ、表面にアルミ板を張って広告ポスターを掲示したいと考えている。



LED照明や広告パネルが設置される指宿駅地下道

**問** 指宿駅前広場の街路灯や駐輪場のフットライト設置工事等に590万円が計上されているが、それぞれ何基設置するのか。

**答** 街路灯を2基、フットラ

イトを2基設置するほか、電波時計を1基設置予定である。

**問** 現在、駐輪場の利用はどういう状況か。

**答** 160台程度を確保しているが、100台程度が駐輪している。

#### ◎全員一致をもって原案可決

#### 陳情第5号

#### 「地熱の恵み活用プロジェクト」に関する陳情書

#### 採択すべきという意見

陳情者から参考人として意見を聴き、質疑にも答えていただいた。この陳情書にも丁寧な、また真摯な姿勢でこの案件に対して説明会を開催していただき、納得・理解でき得るまで対処していただくよう切実にお願いますとうたわれている。われわれ議員としても市民の気持ちに案じ、この陳情はできるだけ早く採択し、執行部にもその旨お願いすべきである。

#### ◎全員一致をもって採択

# 市政の

## 《一般質問》

# ここが聞きたい



6月定例会では、13人の議員が市政の各方面にわたって質問を行いました。

掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

なお、本会議の会議録は市議会事務局、山川・開聞庁舎、図書館および市ホームページで閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については、会議録をご覧ください。



中村 洋幸議員

### 情報伝達について

**問** 市内全域にデジタル防災行政無線が整備され、運用がなされているが、整備費用は全体でどれくらい掛かったのか。

**答** アナログ防災行政無線からデジタル防災行政無線への変更・新設に伴い、親局・中継局・再送信子局・屋外拡声子局・戸別受信機および遠隔制御装置の整備で7億1610万円である。

**問** 運用について問題点はないのか。

**答** 住宅の遮音性向上などに加え、建物の構造や地形など周辺環境の影響により、聞き取りにくい等の声は寄せられている。

**問** 緊急性のある情報は即座に受信し、行動に移すことが大事だろうと思う。3電源方式でどこにいても情報が聞けるということでは、防災ラジオが威力を発揮すると思うが、全戸配布する考えはないか。

**答** 市では、デジタル波からアナログ波に変換する再放送設備を整備し、安価な防災ラジオで防災行政無線を受信できるように整備を進めている。

ところであり、今のところ助成については考えてない。



自動で防災行政無線を受信するFMラジオ

### 防災対策について

**問** 避難所に指定してある所の耐震性については、把握しているのか。

**答** 一次避難所として28カ所、二次避難所を50カ所指定している。現時点では地震に対応した避難所として、18カ所の学校施設を指定している。

**問** 避難所に指定している所には、どのようなものが備蓄品として揃えているのか。

**答** 備蓄目標を人口の5%と定めているが、現在、市では備蓄はわずかである。食料に関しても防災計画においては、市が調達を行うようになっているが、現在、市で備蓄はしていない状況である。



吉村 重則議員

### 冷害被害に対する支援について

**問** 大雪と低温による農業被害額は、20億円を超えている。国・県の支援内容、被害対象農家数と申請者数・申請額は幾らか。

**答** 事業内容は、作物の残渣等の撤去費用として、野菜10a当たり1万1千円、次期作物の植え付けまでの資材購入に対して2分の1以内の補助になっている。国の補助金内示額は、約7億3千万円である。6月6日時点で栽培農家1390戸のうち、申請農家は748戸、申請額は1億7千万円である。

**問** かなりの農家が申請をしていないが、理由などを調査しているか。

**答** 申請を見送った理由として、蓄えがあるとか、農協の災害関連の貸し付けを使うと聞いている。

**問** 農協の災害資金の相談および融資を受けている農家戸数は何件か。

**答** 5月末現在で相談件数は80件で、融資を受けられた方が49件、1億8千万円の融資がされている。



冷害により被害を受けたソラマメ

**問** 農家は、冷害に遭った作物の資材費を7月までに支払わなければならない。その上で補助事業の2分の1を10月までに準備しなければならぬ。対策はできないか。

**答** 農協等の貯蓄を引き出し、自分の力で対応する事実もある。基本的には、J.Aの災害緊急資金か市の農業振興促進基金を充ててもらう。

**問** 国の補助事業の農家負担を一時的に立て替える考えはないか。

**答** 補助事業は、申請された事業者の負担と補助金で成っている。

**問** 子どもを抱える農業後継者等の皆さんは、災害に遭って収入がなく、貧困が進んでいる。学校給食の無料化は考えられないか。

**答** 要保護・準要保護、教育制度においては、子ども・家庭の貧困に対する取り組みもやっている。給食費の無料化は、制度化して適用できるかどうか検討すべきであろうと思う。



白山 正志議員

### 海水浴場およびプール開放について

**問** 遊泳禁止場所はどこか。

**答** 市内全ての海岸、河川、そして池田湖を子どもたちだけで泳いではいけない場所としている。

**問** 遊泳禁止となった理由は何か。

**答** 離岸流の発生や海底・川底などが急に深くなっているところ、岩礁等があり、危険性が高いことが考えられる。

**問** 遊泳禁止を決定するのはどこか。

**答** 海上保安署等の関係機関や県教育委員会等に問い合わせをしたが、明確な回答は得られなかった。児童・生徒の遊泳禁止場所については、指宿市交通事故・水難事故防止対策連絡会において、各学校の教職員やPTA等で校区内を点検し、子どもだけで水遊びをするのは危険であるという場所を安全マップ等に示して持ち寄り、共通認識を図って、児童・生徒の水難事故の未然防止に努めることを確認している。このことから、公的機関が遊泳禁止場所を決めているのではないという認識である。



遊泳禁止を広く周知する赤いのぼり旗

### 学校再編について

**問** これからの取り組みはどのようなになっているか。

**答** 学校のあり方について考える会から、指宿地域においては今後も引き続き検討を行う必要がある、開闢・山川地域においては、小中一貫校の設置について望んでいるという報告を受けている。本年度はこの意見を踏まえ、指宿市望ましい学校づくり推進委員会を組織して、今後の学校の在り方について、市の方向性を定めたいて考えている。

### その他の質問事項

○コミュニティ・スクールについて  
○検討委員会等の在り方について



西森 三義議員

### 雇用対策について

**問** 京都精工の敷地の利活用について、検討したことはないか。

**答** 京都精工跡地については昨年、売却の意志を示したので、空き工場として県の産業立地課に登録し、情報を公開している。

**問** 地熱の恵み構想案が計画どおり有効活用できたら、どれだけの雇用を見込めるか。

**答** 地熱の資源量を調査してみないと分からないが、施設規模に応じた相当数の雇用が見込まれる。

**問** アイスランドと同等の施設ができるとした場合、雇用の見込みはどのくらいを試算しているか。

**答** アイスランドでは、250人を雇用していたが、それに匹敵するような雇用も生まれ、市にとっても経済効果の高い、魅力的な観光施設になると考えている。

**問** 陳情書を出された農家は、万一のときの補償について不安がある。どのような対応をするのか。

**答** 掘削途中で影響があったら即座に中止し、原状復旧に努める。

### 篤姫銅像近辺の整備について

**問** 景勝松林の隼人松原公園に、公園である旨の看板を設置できないか。

**答** 松林の入口付近に設置できないか、今後検討したい。

**問** 今和泉海岸への砂の補充について、検討したことはないか。

**答** 周辺漁場や藻場への影響を指宿漁協に確認の上で、山川漁港の航路浚渫に合せて、砂の運び込みを県と協議したい。



砂浜の再生が望まれる今和泉海岸

**問** 学校からの雨水の排水対策はできないか。

**答** 雨の状況や費用対効果を勘案し、調査・研究したい。



森 時徳議員

### 防災計画について

**問** 災害時の避難所は何カ所で、耐震化は進んでいるのか。

**答** 避難所は78カ所で、小・中学校は平成28年3月で全て、耐震化がされている。中央公民館や指宿・丹波・今和泉・池田の各校区公民館は、現在の耐震基準に適合していないので、今後、耐震化工事については検討する。

**問** 避難所を含め、市内に非常食などは備蓄しているのか。

**答** 本市の防災計画では、災害物資の備蓄の調達目標を人口の5%と定め、日用品や寝具等を2100人分備蓄する必要があるが、備蓄はわずかである。今後、災害時の備蓄を検討するとともに、自主防災組織の協力やホテル等の宿泊施設、食料品の備蓄など、応援協定について協議を進め、大規模な災害に備えていきたい。

**問** 仮設住宅建設地については、選定しているのか。

**答** 各小学校単位で建設候補地を選定

し、県とも情報を共有化している。道路やライフラインなどを考えて、市が所有する公園・学校・運動場などを選定する。

**問** 公共施設の自家発電は、準備しているのか。

**答** 指宿庁舎は太陽光発電と自家発電、山川・開聞庁舎にも発電機があり、事務処理もできる。上下水道も自家発電装置で業務の継続は可能である。非常用の自家発電が確保されていない避難所も一部あり、今後、対策を取りたい。

### 教育行政について

**問** 不登校の児童・生徒が多いが、原因は何か。

**答** 一人ひとり原因は違うが、無気力、情緒不安定、人間関係や親子関係などいろいろな要因が混合して不登校に陥っている現状が見られる。

**問** 対策は取っているのか。

**答** 中学校区ごとに連絡会を開き、情報交換や連携した指導・研修も行っている。また、学校ごとに個別の支援計画を立て、全校体制で支援に取り組んでいる。地域福祉課などとも協力し、保護者を対象にした研修会も行い、解決に努めている。





下川床 泉議員

### 市民協働の取り組みについて

**問** 自治会の加入率について、地域ごとにどのような状況か。

**答** 指宿地域が80%、山川地域が95%、開聞地域が92%である。

**問** 民間集合住宅で、家賃に地区会費をプラスして納めてもらうシステムづくりはできないか。

**答** そのようなシステムは、まだ行われていない。

**問** 自治会加入促進のため、市の庁舎に加入促進ブースを設置して活動している。

**問** 地域コミュニティ組織モデル事業は、どのような状況か。

**答** 福元区では、放課後の子どもの居場所を考えた子どもクラブを立ち上げた。

柳田校区では、郷土芸能の継承が課題で、校区芸能祭を実施した。今和泉校区では、文化祭を実施した。

指宿校区では、地域づくりのアンケート調査、ワークショップ、講演会などを行っている。



指宿校区でのワークショップの様子

### 少子化対策について

**問** 学校の児童・生徒の数は、どのように予想されるか。

**答** 現在、小学生2049人、中学生1063人の計3112人が、18年後の平成46年は、小学生1558人、中学生838人の計2393人となる見込みである。

**問** 少子化対策として、子ども手当の創設、幼稚園・保育園の保育料の補助、小・中学校の給食費の補助などが考えられるが、どうか。

**答** 少子化対策の重要性は十分認識しているが、新たな市独自の支援策については、考えていない。



恒吉 太吾議員

### 災害発生時の備えについて

**問** 熊本地震では、通話の混雑により、電話がつながりにくい状態であった。一方、Wi-Fi等を使ったアクセスは比較的つながりやすかった。情報伝達手段の確保・孤立を防ぐためにも、防災拠点となる庁舎や避難所へのネットワーク環境の整備・導入ができないか。

**答** 備えを万全にする点からも、その意義は大きいと認識している。今後は、防災の観点から順次設置できるように検討していきたい。

**問** 現在、防災行政無線等で情報発信を行っている。庁舎が倒壊、またはその危険性により基地局への立ち入りが禁止・制限された場合、システム運用はどうするのか。また、対策はどうなっているのか。

**答** 庁舎が倒壊、またはその危険性があり、立ち入り制限された場合の対策は、現在取られていない。今後は、非常用基地局を山川・開聞分遣所、または指宿消防署に設置する方法も考えている。

**問** 耐震化の進んでいる小・中学校が

避難所となることが考えられる。学校だけでなく、地域の方々が参加する訓練を一緒に行えば、防災に対する意識も高まり、みんなの顔もよく見えて助け合うことができると思うが、検討しているか。

**答** 非常時の避難所の在り方については関心が高い。学校だけでなく地域にいるときも災害は起こる。今年、山川小学校において、学校と地域が一緒になった避難訓練を計画している。そのような事例も紹介しながら、指導していく。

**問** 熊本の小・中学校で避難所の状態が続き、授業の再開が遅れ、学習指導要領で定めているコマ数確保に苦慮している。本市では、学校の早期再開に向けた事業継続計画等が策定されているのか。

**答** 学校としては策定されていない。熊本地震を教訓としてマニュアル等を見直し、改善するように校長研修会で指導している。



救急の日に合わせて開催される総合防災訓練（写真は平成26年度の様子）



前原 六則議員

### 災害対策について

**問** 指指には今、分かっている断層は、鬼門平断層以外はないか。

**答** 鬼門平を含む池田西断層帯が存在するが、ほかにも調査されていないものがあると想定できる。

**問** 地区防災組織づくりの中で、自治公民館への避難を想定しているが、施設の耐震調査はしているか。

**答** 現在のところ実施はしていない。昭和56年以降の新しい耐震基準により建設された公民館については、基準を満たしている。

**問** 今後の自主防災組織の活動とリーダー養成の計画について。

**答** 29年度に組織編成表、活動計画の提出指導、各組織のリーダー研修会の実施等を予定している。

### 大隅半島との連携について

**問** 地熱の恵み活用プロジェクトは、大隅と南薩を結ぶ新たな観光資源になり得ると思うか。

**答** 着衣のまま入浴できる趣向を変えた温泉施設を建設した場合、本市の魅力はさらに高まり、大隅半島、南薩の目玉として県内の主要な観光ルートとなり、国内外の観光客誘致が期待できる。

**問** 大阪と志布志を結ぶフェリーさんふらわあが2隻、30年に就航するが、大隅と本市の観光資源を結ぶ山川・根占フェリーの利用促進事業内容はどうなるものか。

**答** 地域交流助成事業やタクシー運行助成事業、平日ポイント5倍に加えて、春と秋に鶴亀グラウンドゴルフ大会、レンタカー利用者向け割引チケット発行事業、2次アクセス強化用広報チラシ作成など、積極的に利用者促進を図っていく。



山川-根占フェリーで知られるフェリーなんきゅう



前之園 正和議員

### 政治姿勢について

**問** なのはな館を巡って、無償譲渡の際に議会の議決を求めてほしいと言ったのは、関連予算ではなく独立した議案を出してほしいということだった。それに対して議決を求めると答弁したではないか。

指定袋の値上げ予算に対して2回にわたって議会で減額修正され、値上げが否定されているが、一貫して執行部は値上げの方向性を変えていない。これは議会意思の無視ではないか。

**答** 地熱活用協議会が、条例制定後7カ月経ってから要綱によって非公開になっているが、憲法や地方自治法によって議事公開の原則が定められている。要綱での非公開は条例に反するのではないか。会議を非公開にしたものの、会議録は公開できるのか。

**問** 状況が変わってその都度、議会の議決を得るといふような考えは持っていないか。

**答** 指定袋の値上げをすればごみが減るといふのは事実なことだ。ルールを守らない人を気付けさせるには、可燃ごみ袋を高くして、資源ごみ袋を安くするという経済的なインセンテ

イブが必要である。一般的に会議は、原則公開と認識している。会議の審議上、その内容からして非公開にした方がいいと判断した場合には、要綱とか規則に定める必要があると思っている。個人情報等があるので氏名については伏されるが、会議内容は公開できる。

### 就学援助制度について

**問** 文部科学省が補助対象として明記している中で、本市ではクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が就学援助費の中に含まれていない。これらも含めるべきではないか。

**答** 平成28年度は、学校給食費の支給率を70%から80%に引き上げた。三つの援助については、国の制度や県内他市の動向を注視しながら、今後調査研究を続けていきたい。



勉強も部活動も一生懸命な子どもたち



井元 申明議員

### 地熱の恵みプロジェクトについて

**問** 指宿市地熱発電計画が予定されているヘルシーランド周辺において、民間企業は何件ほど地熱開発を計画されているか。

**答** 2年間に許可を受けた事業者は7件あり、地熱発電事業が1件、農業用が6件である。

**問** 地熱発電は、既存の温泉の何倍もの莫大な量の温泉を強制的に吸い上げるため、温度も温泉量も操業年数が経てば経つほど低下し、地下還元能力低下のために大量の硫酸などの薬剤添加物を使用し、地下水に大きな影響を与えることから、現在予定されている場所の変更は検討できないか。

**答** 地熱発電を実施する上で大切なのは、取り出す量と補充される量がバランスよく保たれること。硫酸などの添加剤の件については、地下に戻す際、硫酸を投入することで、硫酸を構成する水素イオンが弱アルカリ性となった熱水と結び付き、シリカなどスケールが付きにくくなる。硫酸から水素イオンがなくなると硫酸イオンとなるが、この硫酸イオンは、

地下の岩石と反応して濃縮されることとはないことから、環境に影響はないと考えている。ヘルシーランドは、自然公園の中で第二種特別地域であるので、景観に配慮しなければ許可も取れないところである。

### ゴミ処理状況について

**問** 新ごみ処理施設も12月に完成し、来年4月からは本格的運用と認識しているが、進捗状況について。

**答** 5月末現在、計画どおりの37・7%、今後焼却施設・破砕処理施設などプラントと管理棟が12月完成する。



間もなく完成の新ごみ処理施設のイメージ

その他の質問事項  
○サッカー場建設について



高田 千ヨ子議員

### 安心・安全な生活のために

**問** 浄化槽設置の補助制度の現状は。

**答** 本市の浄化槽設置に関する補助制度は、既存住宅のくみ取り便槽、そして単独処理浄化槽を10人槽以下の合併処理浄化槽へ切り替える場合に補助を行っている。

補助額は、設置する浄化槽の規模によって異なるが、5人槽を例にとると1基当たり大体43万2千円の補助となっている。

池田湖取水域と鰻池の取水域では、水質向上を図るため、高度処理合併浄化槽の設置を推進しており、58万2千円の補助となっている。

**問** なぜ新築には助成をしなくなったのか。

**答** 平成13年の浄化槽法の改正により、新たな単独処理浄化槽の設置が禁止されたためである。

**問** リフォーム支援事業の現状は。

**答** 平成25年度が申請者数203人で、総工事費2億5114万円、補助金額1602万円。平成26年度が申請者数191人で、総工事費2億



支援事業でリフォームされた住宅

1425万円、補助金額1486万円、平成27年度が申請者数191人で、総工事費2億249万円、補助金額1455万円となっている。  
また、主な工事内容は、屋根の塗装や瓦の葺き替え、外装塗装、浴室やトイレなどの水周りのリフォーム等が行われている。

### 学校再編について

**問** 地域で子どもの学習を支援する土曜チャレンジスクール事業の実施状況は。

**答** 本市では、丹波校区公民館で丹波キッズお楽しみ教室、魚見校区公民館で、魚見わくわく学習室を実施している。

その他の質問事項  
○保育料について  
○特認校制度について



新川床 金春議員

### ICT教育について

**問** 10年後の社会はICT技術革新が進み、タブレットを活用した教育は、先生の校務を軽減し、児童・生徒と直接向き合う時間が増えると聞かすが、モデル的に導入できないか。

**答** 現在、幾つかの学校にICTの機器を整備したパソコン教室、また、学校に配置されたタブレット等もあるので、さまざまな面から研究をし、市内の学校に整備を検討していきたい。

### 定住自立圏構想の コミュニティ政策について

**問** 市民生活が豊かになり、市民に喜んでもらえる施策のうち、交通弱者や高齢者対策として、市内循環バスの充実を検討できないか。

**答** 交通運輸事業で約2700万円予算があり、懇話会で引き続き検討を進めていきたい。

### ごみ問題について

**問** ごみ減量化日本一の市町村が県内

にあるので、担当職員が先進地を調査研究するべきと提言したがどうか。また、1日61tある可燃ごみを54t以下に減量できないときの対応策は。

**答** 大崎町と志布志市に向いて調査したことはない。また、可燃ごみが減らないときは、日曜日も稼働延長するなど広域組合と協議済みである。

### 陸上競技場について

**問** 4年前、Jリーグのトップチームが来るような施設ということで、陸上競技場内にサッカー場を造ったものの、いまだに出来ないが。

**答** Jリーグのチームがキャンプをするような環境が十分でない。



サッカー場として利用可能な陸上競技場内フィールド



外園 幸吉議員

### 災害対策・対応について

**問** 防災行政等について、アナログ方式からデジタル方式になり、戸別受信機が使えなくなった時点で新しい受信機が必要である。対応が非常に遅いと思うが。

**答** 防災ラジオを購入し、利用していただく。山川・開聞地域が平成28年度、指宿も29年度を予定している。

**問** 消防、水道について、地籍調査の地図やパソコン・タブレット等に対応しているか。

**答** 常備消防においては、GPSを搭載したタブレット端末を現地で活用し、瞬時に消防水利の位置確認に役立てている。非常備消防の消防自動車にタブレットを置く件は、検討していきたい。

**問** 原発関係で、いちき串木野市から指宿市内に避難されるといふことが、市民の皆様浸透してないと思うが。

**答** いちき串木野市原子力災害住民避難計画により、本市に約1万4千人の避難が想定されている。これまで



3市（指宿・南九州・南さつま）の消防通信指令センター

に市政事務嘱託員や自治公民館連絡協議会等で説明した経緯はない。周知徹底を図っていく。

**問** 霧島市の太陽光発電の関係で、大規模な土砂崩れが起こっている。指宿市はどう対応するか。

**答** 雨による土砂流出が発生し、再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインが制定された。指宿市は災害防止を目的とし、開発行為による施設に関する包括的ガイドラインを調査・研究する。

**問** 山川庁舎の耐震診断はどうか。

**答** 耐震不足という結果が出た。改築・移転・他の施設の利用等、迅速に検討を進め、結論を出し、早く対策を取っていく。合併特例債が平成32年度までなので、その活用ができればと考えている。

**第2回臨時会** (平成28年4月27日～5月9日)  
**第3回臨時会** (平成28年7月11日～7月25日)

**委員会審査報告**

**第2回臨時会**

**産業建設委員会**

議案第64号「平成28年度指宿市一般会計補正予算(第3号)について」

【概要】熊本地震により2万人を超える宿泊キャンセルが出ています市内のホテル・旅館への支援策として、商品券付き宿泊プランを展開するための補正予算。(観光課)

**問** 4月28日現在のキャンセル数3万4945人は、金額にして幾らか。  
**答** 観光の消費動向の額等を勘案し計算すると、約9億5千万円を見込んでいます。

**問** 1千万円の事業費で、誘客の想定はどのくらいか。  
**答** 約1万人・2億5千万円程度の効果を出そうと考えている。

【概要】熊本地震により経営に影響を受ける市内のホテル・旅館の運転資金借り入

**第3回臨時会**  
**総務水道委員会**

議案第76号「指宿市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について」

【概要】砂むし会館「砂楽」受付従業員業務上横領に伴う指定管理者の管理・運営に対する職務怠慢行為に対する市長の引責として、給料月額を10%2カ月減額する条例の一部改正。(総務課)

**問** 3月議会に提案された内容と同じであるが、3月時点の不明金1400万円が最終的に1600万円になった。その部分は加味しなかったのか。  
**答** 職員の指定管理者に対する職務怠慢行為および監督不行き届きに対しての処分量定だと捉えており、200万円増となった部分の量定の判断については加味しなかった。

◎委員会が3カ月とする修正案が出され、全員一致をもって修正案可決

議案第77号「平成28年度指宿市一般会計補正予算(第8号)について」

【概要】ヘルシーランド周辺での地熱の恵み活用プロジェクトとしての地熱資源調査委託料および坑井掘削等に伴う工事請負費の補正予算。(市長公室)

**問** 調査井戸掘削工事に加え、前回なかった資源量調査が含まれているがなぜか。  
**答** 当初予算の段階では、3本を掘削し、噴出試験(資源量調査)は、来年度の予定だったが、1本のみ掘削としたことからJOGMEC等との協議で、噴出試験まで事業を完了したい。

**問** 掘削には、距離の制限の関係で斜め掘りがあると思っっているがどうか。  
**答** 掘削場所のヘルシーランドでは垂直掘りも可能だが、観光施設で自然公園区域のため、発電所までの配管などを集約し、景観を損なわないようにしたい。距離的な部分については、横の水平でも先端から150m離してやりたいという二つの大きな要因がある。

住民説明会が足りないという指摘され、その後、幾度となく開催し420人が参加しているが、説明会を開いたことと、住民の不安や懸念の払拭は別物だと思いが。説明会で市民の不安の声も減っており、理解は得られてきていると思っている。

**問** 平成28年5月19日の参議院環境委員会の会議録に、八丁原発電所から800mしか離れていない筋湯温泉の水蒸気およびガスの自噴泉が19本から2本に減り、自噴湧出量が激減をし、水温が著しく低下したという事実等が述べられているが、会議録の中でも、国は地熱発電が影響をしたとは認識しておらず、県にも確認していない。県は地熱発電に関連した影響とは認識していないという答弁である。

**問** 調査の段階で問題が生じたときのために、九電との間で協定を結ぶと思うが、周辺地区や泉源の所有者、温泉業界などは結ばないのか。  
**答** 現在のところは、市と九電だけになるかと思う。

◎反対討論があり起立採決の結果、起立多数で原案可決

# 総務水道委員会

## 所管事務調査の報告

総務水道委員会では、平成28年5月16日から3日間、岩手県一関市、宮城県名取市および福島県南相馬市の調査を行いました。



### 「コミュニティFM情報配信事業」 について調査

#### 岩手県一関市

一関市では、東日本大震災で非常用バッテリー等も切れ、非常に苦労した。その中でFM放送、ラジオ放送が情報発信に重要な手段であることが確認された。電源が入っていないにもかかわらず、自動起動することで、コミュニティとしての放送媒体と非常時連絡の仕組みを形成していることは、防災上重要な役割を果たしている。

本市においては防災無線があるが、難聴地域もある中でこのFM対応ラジオは検討すべき事業であると感じた。

いちのせき元気な地域づくり事業について

市民と行政との協働によるまちづくりの推進というこ  
とだが、旧来の「公民館」を  
「市民センター」に移行する  
もので地域の独自性に基づく  
街づくりの模索の一つだった。



一関市での視察の様子

### 「東日本大震災の現状および復興 への取り組み」について調査

#### 宮城県名取市

名取市では、2013年3月11日14時46分、震度6強の地震にみまわれた。最大浸水高9・09m、最大浸水距離約

5km、住家被害は全壊2801棟、全体で1万3991棟。非住家被害は全壊964棟、全体で2805棟。仮設住宅入居状況はプレハブ仮設、公営住宅等、民間賃貸を

含めて平成28年4月25日現在で940戸・1913人、ピーク時で2189戸・5663人となっている。

ともかく、現地再建を方針とした住民の合意形成や意志の確認を重要視しているが、実際には非常に難しい現状を抱えているようだ。

本市も低湿地帯が開発されてきている。他人事ではなく対策を考えないといけないと思う。

### 「南相馬チャンネル」について調査

#### 福島県南相馬市

南相馬市では、東日本大震災を受けて、市民が市内外に散り散りに避難している状況の中で、行政が市民に情報・事務連絡を伝達する手段として、地上デジタル放送を導入した。ワンセグ、フルセグ、ネット配信を行ない、それぞれの利点を生かした効果が期待できる。

震災を受けて、市民との連絡・広報の手段としては意義深いものがあつたと思う。南相馬では、震災という特殊な事情で補助金があるからでき

ることであり、テレビ放送をするのは、ある意味素晴らしいことだとは思いますが、本市ではこのまま単純に導入するのは財政的にも難しいと思う。そこで、割り込みのできるFMラジオを推進すべきであると思う。



南相馬市での視察の様子



名取市での視察の様子

# 文教厚生委員会 所管事務調査の報告

文教厚生委員会では、平成28年5月24日から3日間、栃木県大田原市、新潟県見附市および糸魚川市の調査を行いました。



## 「ICT技術を活用した新しい教育」について調査

### 栃木県大田原市

大田原市には、市立の小学校20校、中学校9校、分校として、小学校1校、中学校1校があり、「特色ある開かれた学校」を目標として、学力の向上・規範意識の醸成・健康な体と心づくりに積極的に取り組んでいる。

そのような中で、県内の他自治体に先駆け、平成25年9月から3カ年計画でタブレット端末や電子黒板等のICT機器の導入を進め、平成27年8月に全小・中学校への導入を完了している。

子どもに付けさせたい力として、「確かな学力」と「情報活用能力と情報モラル」を挙げ、導入後のICT活用の方針を1年目は、授業のさまざまな場面で活用し、機器の操作に慣れること。2年目は、ICTが効果的に活用できる場面とそうでない学習内容・場面を精選する。3年目は、ICTを活用することで学びが深まる授業の質を高めると

し、学力向上を目指し、効果的な活用方法について研究を進めている。

市長の強いリーダーシップの下、全小・中学校へタブレット端末や電子黒板が導入されており、費用面だけを考えれば大変なものだが、全ては子どもたちの未来のためという側面からの決断は大きい。

タブレット端末や電子黒板を活用することで、画像・音声・動画等の拡大や書き込みながら提示することにより、視覚で見えて感じることで、学習活動を焦点化し、集中力が高まり、理解を深めることができていた。今後、本市が導入を目指していく中でも見習うべき点であった。



大田原市での視察の様子

## 「地域自治推進事業」について調査

### 新潟県見附市

見附市では、平成16年に2度の激甚災害が発生し、その際に一部の避難所で、支援物資や食糧を確保するために、先を争う場面が見られた。また急激に進む少子高齢化の中で、2040年には、人口が3万1千人になると推計され、財政・市職員の数が減ることも予想される。

設立後は、ふるさとセンターを設置し、それぞれの「地域コミュニティ」で話し合いを重ねて考えられた交流イベントの開催や住環境の整備、伝統文化の継承など、地域の特色を生かした取り組みが進められている。

そのような中で、顔の見え関係づくり、地域の確かな絆づくりが求められ、行政頼みではなく、地域のことを自分たちで考える「共助の仕組みづくり」が必要であった。これがコミュニティの取り組みのきっかけであった。

地域コミュニティが放課後児童クラブの設置を行う等の取り組みをしており、地域の関係性が希薄になり、関心が薄い状況の中で、関われるきっかけづくりは重要であると感じた。

失われつつあるコミュニティ機能を再構築し、防犯や防災、高齢者の見守り等、地域課題の解決と活性化を自ら行い、地域力の向上を図ることを目的に町内を基礎にさらに一回り大きな、小学校単位で9つのコミュニティ組織が設立されている。

本市も定住自立圏構想に基づき中心市宣言をしたことで、国からの交付金があると説明を受けている。今後、市民が安心して暮らせるまちづくりのために、手厚く活用してもらいたい。

視察を行った他の自治体

○新潟県糸魚川市

「0歳から18歳までのこども一貫教育」について

# 産業建設委員会

## 所管事務調査の報告

産業建設委員会では、平成28年5月18日から3日間、石川県の七尾市とかほく市、加賀市の調査を行いました。



### 「スポーツ合宿のメッカづくり」

#### について調査

#### 石川県七尾市

七尾市は、能登半島の中ほどに位置し、天然の良港として栄えていた七尾港を海の玄関口に、渚のいで湯として全国的に有名な和倉温泉やさまざまなリゾート施設を有する能登島をはじめ、観光資源にも非常に恵まれた魅力あふれる市である。

平成12年から和倉温泉の一部の旅館がサッカー合宿の受け入れを始め、平成19年度から七尾市内宿泊施設での市外団体等の宿泊を伴う合宿に対し、補助金を交付することにより、交流人口の拡大を図り、地域活性化に資するものである。

平成22年には、宿泊者の減少に歯止めをかけるための方策として、和倉温泉運動公園多目的グラウンドを整備し、サッカーを基軸としたスポーツ合宿の競技施設として、またはグラウンドゴルフや散策路として利活用を図り、地域住民の交流・健康増進を図つ



七尾市での視察の様子

ている。また、防災備蓄倉庫や避難所などの機能を有した防災施設として活用を図っている。

平成25年には、能登島グラウンドを整備し、全ての需要に対応するため、よりいっそうの地域の振興とサッカーを通じた健全な青少年の育成を目的として、人工芝サッカー場を建設している。

本市のサッカー場・多目的グラウンドの計画も全庁的に取り組み、維持管理・運営費等も精査し、あらゆる知恵を出して後世に負担を掛けない整備を検討すべきである。

### 「定住促進事業」

#### について調査

#### 石川県かほく市

かほく市は、県のほぼ中央、金沢市の北約20kmに位置し、平成の大合併における石川県第1号として、平成16年3月1日に誕生。合併時の人口は、3万4621人。若年層が定住する魅力と活力あるまちづくり」を目指し、「児童福祉の充実」、「幹線道路ネットワークの整備」、「産業振興」などに

取り組む、平成28年3月1日現在、推計人口は3万4180人である。

人口の流出を抑制し、転入の増加を図るため、「かほく市若者マイホーム取得奨励金制度」を創設し、45歳未満の方が市内で一戸建て住宅を新築（建て売り購入も含む）した場合に、最大100万円の建築奨励金を交付する事業である。

また、部局横断の市職員による「定住促進プロジェクトチーム」において、11の新規・拡充事業を市長へ提案し、事業が成果を出している。

そして、平成27年3月から、国の地方創生に連動し、制度を拡充させ、若者のさらなる定住を図り、地域の活力向上に取り組んでいる。

本市においても、出生者数が死亡者数を大幅に下回る自然動態の減少傾向が著しく、特に若者定住促進の対策は喫緊の課題である。

ＩターンだけでなくＵ・Ｊターンも含め、さまざま事業を導入すべく調査研究をし、早急な対応を取ることに努めるべきである。



かほく市での視察の様子

視察を行った他の自治体

○石川県加賀市

「観光振興策（加賀市観光戦略プラン）」について



# ICT 推進に関する特別委員会

## 所管事務調査の報告

ICT 推進に関する特別委員会では、平成28年5月11日から2日間、神奈川県南足柄市と逗子市の調査を行いました。



### 「タブレット導入に関する事項」 について調査

#### 神奈川県南足柄市

南足柄市は、神奈川県西部に位置する人口約4万3千人の「金太郎のふるさと」として有名などころである。

タブレット導入は、ペーパーレス会議システムの導入を検討していた行政側からの提案を受け、議会側も導入について検討を開始し、平成25年12月から導入している。

行政側は、パソコン切り換え時にタブレット型パソコンを導入。議会側の初期費用と維持管理費についても行政側が負担している。

行政側はタブレット型パソコン、議会側はタブレットとすることで、使用端末が異なっているが、同じタブレットフォームで利用できるシステムを導入して対応している。

成果と課題として、「情報の共有化と迅速化が図られている」「ペーパーレス化への移行が図られていない」「複数の資料を同時に閲覧することが難しい」などが挙げられていた。

#### 神奈川県逗子市

逗子市は、神奈川県の中浦半島の付け根に位置する市である。

タブレット導入については、議会側が平成25年6月に導入し、12月の定例会から市長ら市の幹部も導入。全国初の「オール・タブレット議会」がスタートした。

議員発議による議員主導で導入しており、行政視察の対応も議員自ら説明を行うなど、議員が積極的に行っている。

紙資料や事務量の軽減、議員の質問力向上、情報公開が図られているなどの成果がある一方で、予算書・決算書の前年度との見比べが難しい、議員のICT機器へのスキルアップ、議場でのパソコン導入といった課題があるということだった。



#### まとめ

今回はタブレット導入に向けた取り組みとして、対照的な2つの自治体を調査した。

南足柄市では、行政主導で市職員と市議会が同じプラットフォームで情報共有できるシステムの構築のためにタブレットを導入したのに対し、逗子市では、議会活動の質の向上と運営の効率化を図ることを目的として、議員発議による議員主導で導入していた。

導入の経緯はそれぞれ違っても、情報の共有化、行政・議会運営の効率化を図るといった点は両市とも同じであり、議会が先行して導入した逗子市では、必要性を感じた執行部が追従する形となっていた。

運用面については一定の基準を設けてはいるものの、基本的には個々の判断に任せている点は共通しており、ペーパーレス化への移行は目標であるがそのことだけに縛られることなく、まず使うことを第一にしている点は非常に参考になる。

また、行政側はWindows型タブレットパソコン、



逗子市での視察の様子

議会側はタブレットと、使用端末に違いがあったが、南足柄市のようにパソコン切り換え時に併せて購入するなど、さまざまなケース・利用形態が考えられるので、この部分については行政側で判断すべきものであると感じた。

費用面については、ペーパーレス化による印刷代や職員労務費の削減効果があるということはもちろんだが、両市とも導入費用・運用費用については議員負担がなく、コストというよりも必要経費として予算化していた。

今回の調査を通じて、タブレット導入は今後の行政・議会運営において、さまざまな効果が期待できるものであるが、導入だけが目的ではなく、どのように活用するかが大事なことでありと再確認できた。

# 選挙（政治）に対する 高校生アンケート ～その1～

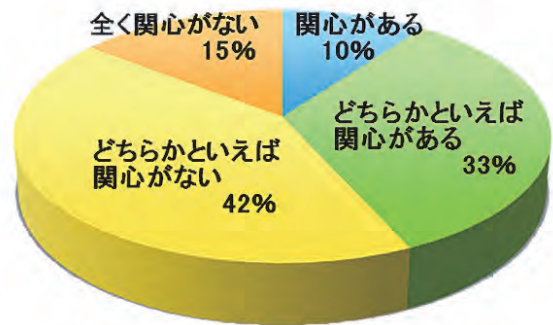


公職選挙法の改正により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、本県では7月10日に行われた参議院議員通常選挙および鹿児島県知事選挙から、18歳に達した生徒も投票できるようになりました。

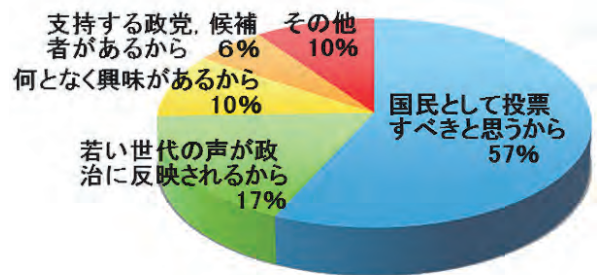
今回の改正に合わせて、各学校では主権者教育として、政治や選挙に対する授業や意識啓発にいつそう取り組んできたのではないのでしょうか。そこで指宿市議会では、市内3高校の3年生を対象にアンケートを実施し、317人（女性177人、男性140人）から回答をいただきました。その結果、73人に選挙権があり、内51人（70%）が選挙に行き、22人（30%）が行かなかったという結果でした。今回の選挙で市内に住所を

有する18歳の投票率が約51%だったことを考えると、選挙（政治）に対する関心の高さが伺えます。また、アンケートでは選挙に行った感想や、政治や選挙に限らない自由な意見もたくさんいただきました。新たに政治への参加の権利を得た若者たちが、今、何を思い、政治についてどう考えているのか、このアンケート結果を十分に検証し、今後の議会活動に生かしたいと考えています。

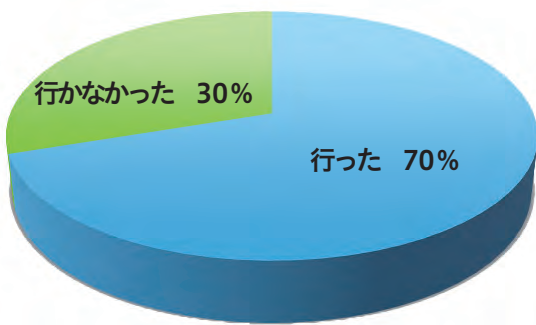
Q あなたは政治に関心がありますか。



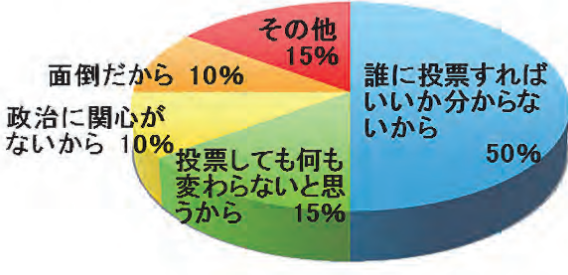
Q 選挙に行った理由は何ですか。



Q 7月10日（日）の参議院議員通常選挙および鹿児島県知事選挙に行きましたか。



Q 選挙に行かなかった理由は何ですか。



## 「公共施設の在り方調査 研究特別委員会」を設置

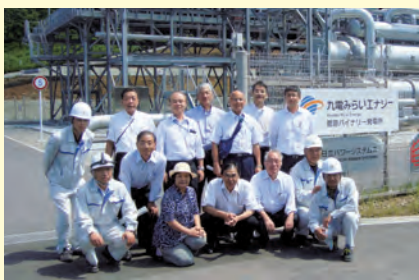
6月2日の本会議で、公共施設の在り方に関する調査研究を行うため、次のとおり特別委員会を設置することに決定しました。

名 称 公共施設の在り方調査研究特別委員会

調査方法 先進地の調査および関係方面からの意見聴取ならびに資料の提出を求めて行う。

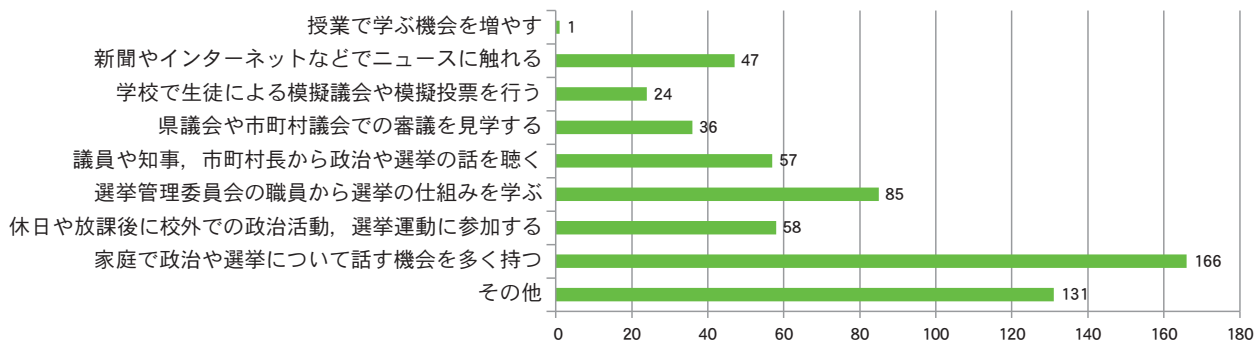
調査期間 平成28年6月24日から平成30年2月11日まで  
委員（8名）

- 東 伸行（委員長）
- 福永 徳郎（副委員長）
- 外 蘭 幸吉 吉村 重則
- 浜田 藤幸 高田チヨ子
- 森 時徳 前原 六則

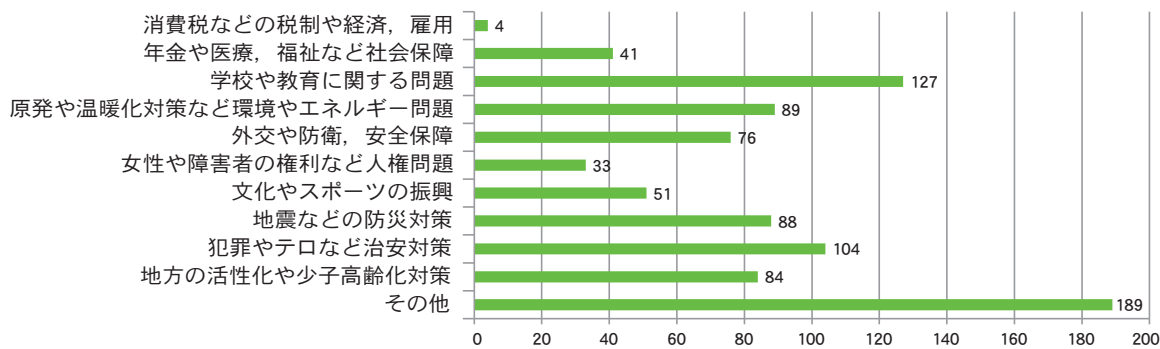


7月5日～6日には大分県九重町の八丁原発電所と菅原バイナリー発電所を視察

Q 政治や選挙に高校生が関心を持つためにはどうしたらいいでしょうか。(複数回答)



Q あなたが関心を持っている社会問題は何ですか。(複数回答)



Q 選挙に行った感想はどうでしたか。

- 思っていたより投票の仕方が分かりやすかった。
- 学校での模擬投票とそこまで変わったことはなかった。
- 比例代表がよく分からなかった。
- 高齢者の方々が多かった。
- 投票後の出口調査に驚いた。
- 少し戸惑いがあったが、とても良い経験になったし、選挙権を持つ国民として、投票できて良かったと思う。
- 自分の一票が政治に反映されるという責任を感じた。少し緊張した。
- 人が少なく静かだった。
- どうしてもいいか分からなかったが、こういう仕組みで知事が決まるんだと思った。
- とても緊張しました。分からないこともあったので、

Q もっと勉強してから参加したいなと思いました。

- 高校3年生でも選挙権がある人となんかいる中で、自分は投票ができ、自分の一票も政治に反映されるということがうれしかった。
- 緊張したが、自分の一票が社会のためになっていると思うとうれしかった。
- 去年よりは選挙のテレビに興味を持てた。
- 自分の声も反映されるのでうれしかった。
- 投票が今まではとても遠いものに見えており、親世代のことと感じていたが、今回、少し政治について考えられたので良かった。
- 特に何も感じなかった。
- あまり行きたいとは思わなかった。
- アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。今回紹介できなかった項目については、次回に掲載予定です。

## 議員表彰

5月31日に開催された第92回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員として本市から5人の議員が表彰されました。

6月24日の本会議終了後、表彰状の伝達が行われました。

25年以上勤続議員

下川床 泉 議員

15年以上勤続議員

中村 洋幸 議員

10年以上勤続議員

東 伸行 議員  
高田 チヨ子 議員  
木原 繁昭 議員



表彰された高田議員、中村議員、下川床議員、木原議員、東議員（写真左から）

# 平成28年第2回臨時会・第2回定例会・第3回臨時会 表決結果

※全会一致は\*、賛否が分かれた案件は賛成○・反対◆で記載

松下議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については本会議での表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

会議名	議案番号	件名	氏名																議決結果						
			外 幸	白 正	恒 太	井 仲	吉 重	西 三	浜 藤	東 伸	高 子	森 時	高 三	福 徳	前 六	前 正	木 繁	中 洋		新 金	下 泉	新 進	松 久		
第2回臨時会	60	指宿市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	承認	
	61	指宿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	-	承認	
	62	副市長の選任について	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	○	○	○	-	同意	
	63	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第2号)について	○	○	○	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
	64	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第3号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
第2回定例会	65	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認を求めることについて	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	承認	
	66	平成28年度指宿市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分の承認を求めることについて	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	承認	
	67	固定資産評価員の選任について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意	
	68	指宿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
	69	指宿市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
	70	指宿市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	-	原案可決	
	71	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第5号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決	
	72	事務の調査について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決	
	73	指宿庁舎耐震補強及び大規模改修(外部)工事請負契約の締結について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意	
	74	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第6号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決	
第3回臨時会	75	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の承認を求めることについて	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	承認	
	76	指宿市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	修正案	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	修正可決		
			修正部分を除く原案	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		-	
	77	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第8号)について	○	◆	○	◆	◆	○	◆	◆	○	○	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	○	-	原案可決		
78	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第9号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決		

## \* 傍聴においでください \*

平成28年第3回定例会（9月議会）が下記のとおり予定されています。

招集・議案上程	8月29日（月）
総務水道委員会	9月1日（木）
文教厚生委員会	9月2日（金）
産業建設委員会	9月5日（月）
一般質問	9月14日（水）・15日（木）・16日（金）
委員長報告・表決	9月23日（金）

※会議は午前10時から開催される予定です。  
日程等は変更されることがありますので、傍聴の際にはあらかじめ市議会事務局までお問い合わせください。  
(Tel 22-2111 内線511・512)

## 編集後記

7月10日、18歳選挙権が導入されて初めての選挙となった、参議院議員通常選挙と鹿児島県知事選挙が行われました。少子高齢化が進む中、未来を担う若い世代が政治に参画できるようになるというのは、とても喜ばしいことです。

今回、指宿市議会では市内にある高校の3年生全員を対象に、選挙（政治）に対する高校生アンケートを行いました。若い世代の政治への関心や、投票への意欲をいかに高めていくか、課題解決に向けての参考にしたかと考えています。

広報委員 白山 正志